

科目名	手形・小切手法 Securities Law						
科目担当者	松野 民雄 MATSUNO Tamio						
単位数	4	配当年次	3年	授業形態	講義	開講学期	通年
履修学部・学科 [区分]	法学部・法律学科 [専門教育科目 専門科目]					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	この授業では、金銭債務の支払決済手段についての講義を行います。具体的には、前期は、伝統的な支払決済手段である「手形・小切手」について、後期は、「銀行振り込み」と「キャッシュレス決済」（クレジット・カード、デビット・カード、電子マネー、コード決済）について、基本的な仕組み・法的内容を理解してもらうように、具体例を挙げながら講義を行います。この授業では、「手形・小切手」、「銀行振り込み」、「キャッシュレス決済」に関する基礎的な法律知識を修得するために行います。						
授業の到達目標	① 手形・小切手、銀行振り込み、キャッシュレス決済の基本的な枠組みを理解することができている。 ② 手形・小切手、銀行振り込み、キャッシュレス決済に関する法律内容を理解できている。 ③ 手形・小切手、銀行振り込み、キャッシュレス決済に関する法律問題について、法的に的確な判断をすることの基礎ができている。						
授業計画・内容	1	イントロダクションと支払決済手段の総論	16	イントロダクションと支払決済手段の総論			
	2	有価証券の意義と手形・小切手の機能	17	銀行取引における決済 1			
	3	手形・小切手の条文の構造と手形行為の種類	18	銀行取引における決済 2			
	4	手形・小切手の特質(書面行為性・無因性等)	19	銀行取引における決済 3			
	5	手形行為と民法の一般意思表示規定との関係	20	クレジット・カードによる決済 1			
	6	手形理論とは何か?	21	クレジット・カードによる決済 2			
	7	約束手形 1 (手形の記載事項)	22	クレジット・カードによる決済 3			
	8	約束手形 2 (手形の裏書と裏書の連続)	23	デビット・カードによる決済			
	9	約束手形 3(支払い呈示、遡求)	24	電子マネーによる決済 1			
	10	約束手形 4(手形の時効、白地手形)	25	電子マネーによる決済 2			
	11	約束手形 5(手形の善意取得)	26	コード決済 1			
	12	為替手形のしくみ	27	コード決済 2			
	13	小切手のしくみと法的性質	28	仮想通貨による決済 1			
	14	手形交換所、不渡りとは何か	29	仮想通貨による決済 2			
	15	まとめ	30	キャッシュレス決済のまとめ			
授業外学修 (事前学修)	事前の学修としては、2時間程度、指定教科書の該当部分を読んでおくことが望ましい。その際、必ず、関連条文を「六法」で確認しておくこと。						
授業外学修 (事後学修)	事後の学修としては、2時間程度、授業の内容を振り返るとともに、教科書の該当箇所を再度確認しながら、授業内容の知識を確実なものにしておくこと。						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率	到達目標との対応	
	授業への出席(3分の2以上)が当然の前提となる。 ① 受講態度・授業への取り組み姿勢 (30%) ② 定期試験の結果 (70%) ※本年度、民法・商法が試験科目となっている国家試験、公務員試験または検定試験に合格した者については、特例措置あり。				① 30% ② 70%	①②③	
成績評価基準	秀：(評点 90 点以上) 到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：(評点 80 点～89 点) 到達目標を高い水準で達成している場合 良：(評点 70 点～79 点) 到達目標を一定の水準で達成している場合 可：(評点 60 点～69 点) 到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：(評点 60 点未満) 到達目標に達していない場合						
教科書	松嶋隆弘=大久保拓也著『商事法講義 3 支払い決済法』(中央経済社、2020 年)						
参考文献	神田秀樹・神作裕之編『手形小切手判例百選 [第 7 版]』別冊ジュリスト Np.222 (有斐閣、2014 年)						
その他	併せて、「商法総則・商行為法」、「金融法」を受講することが望ましい。						